



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 上場取引所 東
 コード番号 6425 URL https://www.universal-777.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富士本 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 麻野 憲志 TEL 03-5530-3055
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	14,669	△64.0	△4,040	—	△1,961	—	△5,206	—
2020年12月期第1四半期	40,770	80.1	5,876	—	2,914	—	3,123	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 3,282百万円 (267.8%) 2020年12月期第1四半期 892百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	△67.19	—
2020年12月期第1四半期	40.05	40.05

(注) 2021年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	581,915	360,860	62.0	4,656.46
2020年12月期	568,502	357,577	62.9	4,614.09

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 360,801百万円 2020年12月期 357,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2021年12月期 (予想) 期末配当は、未定としております。

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	80,195,000株	2020年12月期	80,195,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	2,710,888株	2020年12月期	2,710,772株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	77,484,207株	2020年12月期1Q	77,990,852株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 連結業績予想について	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(4) 追加情報	9
(5) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年12月期 第1四半期累計	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に帰属する 四半期純損益
個別 (百万円)	5,941	△3,297	△584	△1,634
連結 (百万円)	14,669	△4,040	△1,961	△5,206

遊技機事業においては、前四半期連結会計期間に「SLOTパジリスク～甲賀忍法帖～絆」を「継承」し、6号機としての新たな要素を加えた『SLOTパジリスク～甲賀忍法帖～絆2』を47,732台販売したことなどから、合計で52,631台を販売しました。一方、当四半期連結会計期間においては、現在、市場で稼働しているパチスロ機の主要タイトル約60万台が、当連結会計期間の第4四半期から来期の第1四半期にかけて、入替が予定されていることから、当連結会計期間の当社の製品販売も、その期間に集中して主要製品タイトルを市場に投入する戦略に基づいて行っております。その結果、当四半期連結会計期間の販売台数は、前四半期連結会計期間の52,631台から12,708台となりました。また、統合型リゾート(IR)事業においては、統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」における新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として操業が最大30%に限定されたことにより売上高は減少しました。一方で、従業員の20%以上の人員削減を行い人件費が減少し、操業の制限に伴い販管費も減少しました。また円安ドル高の進行によって為替差益を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、14,669百万円（前年同期比 64.0%減）、営業損失は4,040百万円（前年同期 営業利益5,876百万円）、経常損失は1,961百万円（前年同期 経常利益2,914百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5,206百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益3,123百万円）となりました。なお、事業セグメント別の業績は以下のとおりであります。各業績数値はセグメント間売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

①遊技機事業

当第1四半期連結累計期間における遊技機事業の売上高は5,383百万円（前年同期比 78.2%減）、営業損失は1,525百万円（前年同期 営業利益9,507百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、2020年12月以降の新型コロナウイルス感染症急拡大の影響により、2021年1月に全国11都府県に2度目の緊急事態宣言が発出されました。パチンコホールは時短営業の要請対象に含まれていないものの、緊急事態宣言の発出に伴い、該当地域のパチンコホールにおいては自主的に20時以降のネオン消灯や集客を目的とした広告宣伝の自粛に取り組みました。2021年3月21日の緊急事態宣言解除後は、多くのパチンコホールが自主的に行っていたネオン消灯や広告宣伝等の自粛を解除し、通常営業を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明なことから、新台入替に対する慎重な姿勢は依然として続いており、パチスロ・パチンコ機の市場供給は低調に推移しました。

かかる状況下で当社は、市場活性化に向け、株式会社カプコンとの業務提携による遊技機第1弾となるパチスロ機『パチスロ バイオハザード7 レジデント イービル』や遊技機業界において圧倒的な人気を誇るGODシリーズを用いたパチンコ機『Pアナザーゴッドボセイドン-怒濤の神撃-』の市場投入を行いました。

②統合型リゾート (IR) 事業

当第1四半期連結累計期間における統合型リゾート (IR) 事業の売上高⁽¹⁾ は8,945百万円（前年同期比 43.1%減）、営業損失は386百万円（前年同期 営業損失1,721百万円）となりました。また、当第1四半期における統合型リゾート (IR) 事業の調整後EBITDA⁽²⁾ は1,439百万円（前年同期比 33.6%減）となりました。

当社グループが運営する統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」のあるフィリピンでは、2020年9月9日付リリース「オカダ・マニラの営業再開に関するお知らせ」に記載の通り、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が軽減されたとしてゲーミング事業の一部営業を再開しておりました。またその後も規制の緩和により、ホテルをはじめ飲食事業も一部営業を再開しておりました。しかしながら2021年3月、新型コロナウイルス変異株の登場により感染者が急増したため、フィリピン政府はマニラ首都圏他4州にEnhanced Community Quarantine（強化されたコミュニティ隔離措置：以下ECQ）を発令し、3月29日から4月11日まで、感染拡大防止のため昨年2020年3月と同様に一時経済活動を停止しました。

(1) 売上高は、総売上高からゲーミング税及びジャックポット費用を控除したものです。

(2) 調整後EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + その他の調整項目

③その他

当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は230百万円（前年同期比 22.2%減）、営業利益は9百万円（前年同期比 93.2%減）となりました。

メディアコンテンツ事業においては、これまでAndroidにのみ対応していた「ユニバ王国」（スマートフォンで高品質なシミュレータアプリが楽しめる月額制サービス）が、2021年3月19日より新たにiOSに対応いたしました。順次対応機種を増やすことで会員数増加に努めてまいります。またソーシャルカジノゲーム「スロットストリート」では2月に大規模アップデートを実施しました。「神々のお守り」と呼ばれるアイテムを集めて、より有利にランキングバトルを楽しめるようになりました。新規ビデオスロットとしては「ミリオンゴッド-神々の凱旋-王座奪還」を追加し、全45機種となりました。新機種を定期的に追加することで、既存会員の継続意欲の向上に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産の額は、現金及び預金の減少、持分法会社への貸付金の一部返済による減少、持分法会社の株式売却があった一方、建設投資に伴う建設仮勘定の増加、持分法による投資利益の増加による関係会社株式の増加、円安ペソ高の進行に伴う有形固定資産の増加により、前連結会計年度末と比べて13,413百万円増加し、581,915百万円となりました。

(負債)

総負債の額は、支払手形及び買掛金の減少、長期借入金の返済による減少があったものの、円安ドル高の進行による社債、短期借入金、長期借入金の増加、円安ペソ高の進行に伴うリース債務による固定負債の増加もあり、前連結会計年度末と比べて10,130百万円増加し、221,055百万円となりました。

(純資産)

純資産の額は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失計上により減少した一方、円安ペソ高による為替換算調整勘定の増加もあり、前連結会計年度末と比べて3,282百万円増加し、360,860百万円となりました。

この結果、自己資本比率は62.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①遊技機事業

遊技機業界では、旧規則機の撤去期限が近づいているものの、まん延防止等重点措置の実施に加え、6都府県に3度目の緊急事態宣言が発出される等、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期はまだまだ不透明であります。その結果、感染拡大の影響によるパチンコホールの集客や稼働回復の遅れから、新台入替に対する慎重な姿勢は今後も続くものと見込んでおります。

第2四半期の見通しとして、パチスロ機においては、アニプレックス社の人気アニメとのタイアップ機で初の遊技機化となる『SLOT アルドノア・ゼロ』の導入を開始しております。またパチンコ機においては、バジリスクシリーズから『Pバジリスク～甲賀忍法帖～2 朧の章』の導入、ファン待望の新コンテンツ『Pバジリスク～桜花忍法帖～』の販売を開始しております。

当社は引き続き、独自性のある魅力的な遊技機創出に努めてまいります。またその魅力ある遊技機を通して、遊技機業界全体の活性化に貢献してまいります。

②統合型リゾート（IR）事業

フィリピン政府より発令されましたECQは、当初予定よりも期間が延長され、4月11日までとなりました。その後、4月12日からModified Enhanced Community Quarantine（修正を加えた強化されたコミュニティ隔離措置：以下MECQ）へと一段階規制が緩和されました。政府は引き続き感染者数の動向を注視しながら、MECQの再延長の有無を検討しております。オカダ・マニラでは、今後もコストコントロールを厳格に行いながら、このような状況に対しても柔軟に適応し、対応してまいります。

③その他

メディアコンテンツ事業においては、引き続き高品質なシミュレータアプリや楽曲の配信を行ってまいります。月額制サービスの「ユニバ王国」及び基本無料ソーシャルカジノゲームの「スロットストリート」では、新機種の追加、イベントの開催、機能の追加及び改善を行うことでユーザーの満足度向上に努めてまいります。さらには、各種ゲームプラットフォームへの展開並びにコンテンツのライセンスアウトを積極的に行ってまいります。

(4) 連結業績予想について

当社は、2021年12月期の連結業績予想を未定としております。なお、業績に重要な影響を及ぼす統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」を運営するTIGER RESORT, LEISURE AND ENTERTAINMENT, INC. の2021年12月期第1四半期実績(速報値)を開示しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,349	30,721
受取手形及び売掛金	7,369	7,195
有価証券	2	2
商品及び製品	2,367	1,808
仕掛品	11,866	13,203
原材料及び貯蔵品	9,653	8,734
その他	15,591	14,380
貸倒引当金	△2,599	△2,737
流動資産合計	81,601	73,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	260,664	270,904
建設仮勘定	70,346	75,607
リース資産(純額)	54,889	57,293
その他	37,417	37,872
有形固定資産合計	423,317	441,677
無形固定資産		
その他	1,969	1,933
無形固定資産合計	1,969	1,933
投資その他の資産		
投資有価証券	16,762	17,496
長期預け金	6,413	6,857
関係会社長期預け金	25,125	26,873
その他	13,038	13,593
貸倒引当金	△696	△724
投資その他の資産合計	60,644	64,096
固定資産合計	485,931	507,708
繰延資産	969	900
資産合計	568,502	581,915

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,960	4,515
短期借入金	10,927	11,071
1年内返済予定の長期借入金	2,070	2,214
1年内償還予定の社債	—	13,768
未払金	9,247	10,578
未払費用	15,484	17,948
未払法人税等	463	425
賞与引当金	81	285
その他	13,125	10,006
流動負債合計	57,361	70,813
固定負債		
社債	78,720	70,605
長期借入金	7,141	7,085
退職給付に係る負債	167	199
関係会社長期預り金	5,175	5,535
リース債務	59,209	62,612
その他	3,148	4,203
固定負債合計	153,563	150,241
負債合計	210,924	221,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	98	98
資本剰余金	18,829	18,829
利益剰余金	346,478	341,272
自己株式	△7,317	△7,317
株主資本合計	358,088	352,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27	39
為替換算調整勘定	△631	7,786
退職給付に係る調整累計額	88	93
その他の包括利益累計額合計	△569	7,919
新株予約権	58	58
純資産合計	357,577	360,860
負債純資産合計	568,502	581,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	40,770	14,669
売上原価	18,641	7,542
売上総利益	22,129	7,126
販売費及び一般管理費	16,253	11,167
営業利益又は営業損失(△)	5,876	△4,040
営業外収益		
受取利息	33	27
受取配当金	10	2
為替差益	—	4,549
持分法による投資利益	251	70
その他	19	35
営業外収益合計	315	4,684
営業外費用		
支払利息	1,070	1,082
社債利息	1,542	1,437
為替差損	584	—
支払手数料	14	3
その他	64	82
営業外費用合計	3,276	2,606
経常利益又は経常損失(△)	2,914	△1,961
特別利益		
固定資産売却益	6	—
その他	5	0
特別利益合計	12	0
特別損失		
固定資産除売却損	—	3
臨時損失	—	1,945
その他	—	185
特別損失合計	—	2,134
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,926	△4,095
法人税、住民税及び事業税	△20	2
法人税等調整額	△176	1,109
法人税等合計	△196	1,111
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,123	△5,206
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,123	△5,206

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,123	△5,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△253	66
為替換算調整勘定	△1,978	8,417
退職給付に係る調整額	0	4
その他の包括利益合計	△2,231	8,489
四半期包括利益	892	3,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	892	3,282
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(会計方針の変更)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(連結損益計算書注記)

(臨時損失)

当社グループの連結子会社TIGER RESORT, LEISURE AND ENTERTAINMENT, INC.において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした、フィリピン政府や、フィリピンカジノ運営公社PAGCOR (Philippine Amusement and Gaming Corporation) の要請に基づき、統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」における営業停止した施設の当該期間に係る固定費(減価償却費等)を、特別損失に計上したものです。

(4) 追加情報

(借入費用の取得価額算入)

統合型リゾート(IR)事業に要した資金のうち、その建設資金を借入金及び社債(私募債)により調達している長期プロジェクトで、かつ、その金額が重要なものについては、建設期間中に対応する借入費用を取得価額に算入しております。

(5) 重要な後発事象

該当する事項はありません。